

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2年 2月 20日 更新

事務事業名		下水道事業会計繰出金支出事務				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	都市建設部	課長名	岩男 竜彦
	施策	20	水の安定供給と排水の浄化			所属課	都市計画課	担当者名	渡辺 紀子
	施策の柱	61	排水の浄化			所属班	都市計画班	(内線)	5264
予算科目	会計一般	款 8	項 4	目 4	事業連番 10174	根拠法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	市水道局上下水道課の請求に伴い、繰出金の支出事務を行う。 平成27年度から下水道事業等が企業会計化された。
【業務の流れ】	請求書受領、支出負担行為兼支出命令書の起票
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金、投資及び出資金
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)	下水道特別会計の適正な運営に資するため、一般会計からの繰り出し金を適正に処理した。(請求書受領、支出負担行為兼支出命令書起票)	31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ ア: 繰出金の支出		
→ イ:		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	下水道事業会計繰出金	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 件
		→ ア: 繰出金の支出
		→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	公共下水道事業や農業集落排水事業の運営のため、一般会計から下水道事業会計への繰出金の支出を行う	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) 千円
		→ ア: 繰出金の額
		→ イ:
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
繰出金が確実に支出されたことを確認する		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度実績(決算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	30年度実績(決算)	31年度目標(当初予算)	2年度予定	3年度見込	4年度見込
① 活動指標	ア 件	件	3	3	3	3	3	3	3	3
	イ									
② 対象指標	ア 件	件	3	3	3	3	3	3	3	3
	イ									
③ 成果指標	ア 千円	千円	748,051	582,002	650,000	581,000	650,000	650,000	650,000	650,000
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	748,051	582,002	581,000	581,000	581,000		
		(A) 事業費計	千円	748,051	582,002	581,000	581,000	581,000	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	3	1	2	1	0	0
延べ業務時間	時間	20	20	1	10	1	0	0		
(B) 人件費計	千円	0	79	3	39	3	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	748,051	582,081	581,003	581,039	581,003	0	0		

事務事業名	下水道事業会計繰出金支出事務	所属部	都市建設部	所属課	都市計画課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 事務事業の内容は繰出金の支出のみであるため、目標達成の見込みはある。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 事務事業の内容は繰出金の支出のみであるため、成果向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 公共下水道事業や農業集落排水事業の運営内容による。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 繰出金の支払い事務のみのため、削減余地がない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 下水道事業に関しては受益者負担となっており、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 公共下水道と農業集落排水事業については、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、公共用水域の水質の保全に資するため、県または市で運営している。

3 評価結果の総括 (CHECK)

繰出金の支出事務を行なった。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						